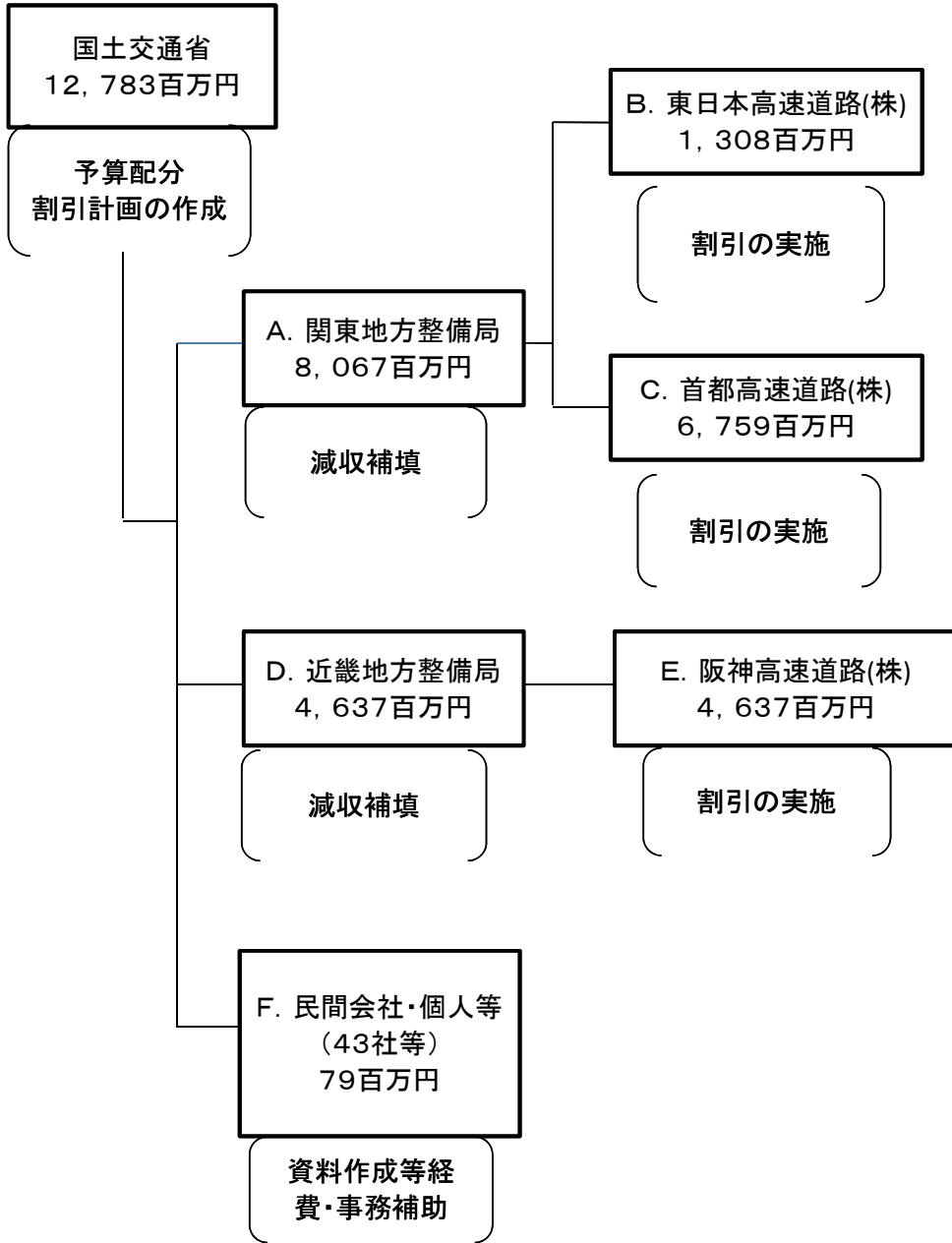


行政事業レビューシート (国土交通省)						
予算事業名	高速ネットワークの効率的活用・機能強化に関する経費		事業開始年度	平成19年度	作成責任者	
担当部局庁	道路局		担当課室	高速道路課	課長 森 昌文	
会計区分	一般会計		上位政策	-		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<ul style="list-style-type: none"> 「道路特定財源の見直しに関する具体策」(平成18年12月8日閣議決定)及び「道路特定財源の見直しについて」(平成19年12月7日政府・与党合意)に基づき、地域活性化、物流の効率化、都市部の深刻な渋滞の解消等の政策課題に対応するため、既存の高速道路ネットワークの有効活用に取り組む。 					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> より効果的な交通誘導を行うため、高速道路料金の引き下げを実施し、それに伴う交通渋滞、物流、環境等に与える効果と影響を把握する。 					
実施状況	<p><平成21年度の実施状況></p> <ul style="list-style-type: none"> 首都高速道路：平日オフピーク割引(1割引：11時～15時、18時～22時) 阪神高速道路：平日オフピーク割引(1割引：6時～7時、11時～16時、19時～22時) 湾岸線環境ロードプライシング割引(西線+1割引、東線+3割引、車種拡大) アクアライン迂回誘導割引(大型車)：終日一律1,320円 (千葉県による割引実験：普通車800円と連携して実施) 					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	21,029	12,330	15,000	-	-
	執行額	21,029	12,326	12,783		
	執行率	100.0%	100.0%	85.2%		
	総事業費(執行ベース)	21,029	12,326	12,783		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<ul style="list-style-type: none"> 高速道路を管理・運営する高速道路会社より、割引利用台数等の報告を受けることにより、その実績については的確に把握している。 				
	見直しの余地	<ul style="list-style-type: none"> 本経費はH21年度で終了し、H22年度は無料化社会実験経費として計上している。 				
予算監視の効率化	<p>【事業廃止】</p> <p>平成22年度より、物流コスト・物価を引き下げ、地域経済を活性化するため、「高速道路無料化社会実験」を実施しているところであり、本経費による料金割引の実験については平成21年度で廃止する。</p>					
補記	<p>(予算額) (決算見込額)</p> <p>062 道路交通円滑化推進費 95016-2123-09 道路交通円滑化推進調査費 15,000百万円 12,783百万円</p>					

※契約ベースにて作成



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. 関東地方整備局			E. 阪神高速道路株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
高速ネットワークの効率的活用・機能強化に関する経費	東日本高速道路株式会社への減収補填	1,308		割引の実施	4,637
高速ネットワークの効率的活用・機能強化に関する経費	首都高速道路株式会社への減収補填	6,759			
計		8,067	計		4,637
B. 東日本高速道路株式会社			F. 民間会社・個人等		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	割引の実施	1,308	消耗品費	資料作成等経費	9
計		1,308	計		9
C. 首都高速道路株式会社			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	割引の実施	6,759			
計		6,759	計		0
D. 近畿地方整備局			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
高速ネットワークの効率的活用・機能強化に関する経費	阪神高速道路株式会社への減収補填	4,637			
計		4,637	計		0